

7 鉄骨工事	① 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ○国土交通大臣認定（グレード）：Rグレード (7.1.1) (7.1.3)	11 レール及びその付属品	形状及び寸法等 ・ 図示による () ・ (7.2.8)	8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類 (8.2.2.5)	9 防水工事	1 アスファルト防水 (9.2.2~5) (表9.2.3~9)
	2 施工管理技術者	・適用する ・適用しない (7.1.3.4)	⑫ 柱底均しモルタル	モルタルの種類 ○無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標準仕様書7.2.9(b) (1)から(4)による ・ 標準仕様書7.2.9(a)によるモルタル (7.2.9)		2 コンクリートブロック 壁壁及び欄	ブロックの種類 (8.3.2.3)		
	③ 鋼材	材質等 (7.2.1)	⑬ 製作精度	※標準仕様書7.3.3及びH12建告第1464号第二号イによる H12建告第1464号第二号イ(1)(2)のただし書きによる補強は、「突合せ継手の食い違い仕口の ずれの検査・補強マニュアル」による (7.3.3)	⑬ ALCパネル	4 押出成形セメント板 (ECP)	ブロックの種類 (8.4.2~5)	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 高層系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートク レップ発生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 屋上排水溝 ※図示	
	④ 高力ボルト	ボルトの区分 (7.2.2)	14 鉄骨の仮組	仮組を行う範囲 ・ 図示による () ・ (7.3.10)			ブロックの種類 (8.5.2~5)	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 高層系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートク レップ発生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 屋上排水溝 ※図示	
		⑤ 普通ボルト	15 溶接技能者の技量付加試験	試験の要領 ・ 図示による () ・ (7.6.3)			外壁パネルの構造 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対 応した工法） ・ 適用しない パネル幅の最小限度（mm） ※300・300未満は図示（ ） 外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合いの目地幅 目地幅（mm）・20 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 高層系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートク レップ発生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 屋上排水溝 ※図示	
		6 溶融亜鉛めっき 高力ボルト	⑭ 溶接部の試験	開先の形状 ○図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1~2） (7.6.4)			パネルの種類 表面形状 厚さ（mm） 幅（mm） 工法の種別 備考 ・ 外壁 パネル ・ F ・ 50 ・ 60 ・ ・ D ・ 50 ・ 60 600 ・ A種 ・ T 60 ・ B種 ・ 間仕切壁 パネル ・ F ・ 50 ・ 60 ・ ・ D ・ 50 ・ 60 ・ C種 ・ T 60	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 高層系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートク レップ発生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 屋上排水溝 ※図示	
			⑮ 溶止め塗装	溶接部の余盛り高さ ○JASS6付期6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による (7.6.7)			外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対 応した工法） ・ 適用しない パネルの相互の目地幅（mm） 長辺の目地幅 ※8以上 ・ 図示 短辺の目地幅 ※15以上 ・ 図示 出隅及び入隅のパネル接合目地は伸縮調整目地としシーリング材を充填する 目地幅（mm） ※15 ・ 図示 原則として、欠き込み等は行わない。やむを得ず行う場合の開口の限度 ・ 図示（ ）	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 高層系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートク レップ発生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 屋上排水溝 ※図示	
			⑯ 耐火被覆	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.11)			外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対 応した工法） ・ 適用しない パネルの相互の目地幅（mm） 長辺の目地幅 ※8以上 ・ 図示 短辺の目地幅 ※15以上 ・ 図示 出隅及び入隅のパネル接合目地は伸縮調整目地としシーリング材を充填する 目地幅（mm） ※15 ・ 図示 原則として、欠き込み等は行わない。やむを得ず行う場合の開口の限度 ・ 図示（ ）	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 高層系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートク レップ発生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 屋上排水溝 ※図示	
			⑰ アンカーボルト	⑰ 錆止め塗装 (7.8.3)			外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対 応した工法） ・ 適用しない パネルの相互の目地幅（mm） 長辺の目地幅 ※8以上 ・ 図示 短辺の目地幅 ※15以上 ・ 図示 出隅及び入隅のパネル接合目地は伸縮調整目地としシーリング材を充填する 目地幅（mm） ※15 ・ 図示 原則として、欠き込み等は行わない。やむを得ず行う場合の開口の限度 ・ 図示（ ）	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 高層系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートク レップ発生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 屋上排水溝 ※図示	
			⑱ 溶接材料	⑱ 耐火被覆 (7.9.2~7)			外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対 応した工法） ・ 適用しない パネルの相互の目地幅（mm） 長辺の目地幅 ※8以上 ・ 図示 短辺の目地幅 ※15以上 ・ 図示 出隅及び入隅のパネル接合目地は伸縮調整目地としシーリング材を充填する 目地幅（mm） ※15 ・ 図示 原則として、欠き込み等は行わない。やむを得ず行う場合の開口の限度 ・ 図示（ ）	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 高層系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートク レップ発生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 屋上排水溝 ※図示	
			⑲ ターンバックル	⑲ 耐火被覆 (7.9.2~7)			外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対 応した工法） ・ 適用しない パネルの相互の目地幅（mm） 長辺の目地幅 ※8以上 ・ 図示 短辺の目地幅 ※15以上 ・ 図示 出隅及び入隅のパネル接合目地は伸縮調整目地としシーリング材を充填する 目地幅（mm） ※15 ・ 図示 原則として、欠き込み等は行わない。やむを得ず行う場合の開口の限度 ・ 図示（ ）	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 高層系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートク レップ発生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 屋上排水溝 ※図示	
			⑳ デッキプレート	⑲ 耐火被覆 (7.9.2~7)			外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対 応した工法） ・ 適用しない パネルの相互の目地幅（mm） 長辺の目地幅 ※8以上 ・ 図示 短辺の目地幅 ※15以上 ・ 図示 出隅及び入隅のパネル接合目地は伸縮調整目地としシーリング材を充填する 目地幅（mm） ※15 ・ 図示 原則として、欠き込み等は行わない。やむを得ず行う場合の開口の限度 ・ 図示（ ）	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル張り ※水下 60mm 以上 立上り部の保護 ・ 乾式保護材 高層系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートク レップ発生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。 屋上排水溝 ※図示	